

## I 第28週の発生動向 (2013/7/8~2013/7/14)

1. インフルエンザについては、県全体の患者報告数は前週の16人から7人に減少しました。迅速診断キットによる型別では、すべてB型でした。
2. 手足口病については、上十三保健所管内で **警報**が発令されました。また、八戸保健所管内では警報レベル近くまで増加していることから、他の保健所管内でも今後の動向に注意が必要です。

## II 第28週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週比)	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
小児科 +内科 (85) インフルエンザ									6	0.7	1	0.2	7	0.1	-9				
小児科 (74) RSウイルス感染症			1	0.1	3	0.3			2	0.3			6	0.1	-2				
(75) 咽頭結膜熱	3	0.4	2	0.2	1	0.1	1	0.2	5	0.8			12	0.3	7			3	0.4
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	0.9	8	0.9	15	1.7	1	0.2	8	1.3	4	1.0	43	1.0	-1			7	0.9
(77) 感染性胃腸炎	17	2.1	5	0.6	10	1.1	7	1.4	7	1.2	12	3.0	58	1.4	-1			17	2.1
(78) 水痘	17	2.1	3	0.3	8	0.9	1	0.2	9	1.5	9	2.3	47	1.1	27			17	2.1
(79) 手足口病	1	0.1	1	0.1	43	4.8			45	7.5			90	2.2	49			1	0.1
(80) 伝染性紅斑															-3				
(81) 突発性発しん	2	0.3	6	0.7	4	0.4	1	0.2	7	1.2	1	0.3	21	0.5	-5			2	0.3
(82) 百日咳															0				
(83) ヘルパンギーナ	2	0.3	8	0.9	3	0.3	1	0.2	10	1.7			24	0.6	10			2	0.3
(84) 流行性耳下腺炎			12	1.3	1	0.1			1	0.2	1	0.3	15	0.4	-2				
眼科 (86) 急性出血性結膜炎															0				
(87) 流行性角結膜炎	1	0.5			3	1.5							4	0.4	-3			1	0.5
基幹 (92) クラミジア肺炎															0				
(93) 細菌性髄膜炎															0				
(95) マイコプラズマ肺炎			1	1.0	7	7.0					7	7.0	15	2.5	7				
(96) 無菌性髄膜炎															0				

は警報 は注意報。「空欄」: 患者発生無し。

## III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

- (10) 結核(二類全数把握疾患): 弘前1人、むつ2人 (2013年計:172人)
- (16) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患): 青森市1人、弘前3人、上十三2人 (2013年計:29人)

## IV 病原体検出情報 ( )内は、検査材料及び検体採取日、患者数です。

- ・上気道炎患者3名(鼻汁、5/31~6/10)・・・**パラインフルエンザウイルス(PIV)**: 八戸(1)、**RSウイルス**: 弘前(1)、八戸(1)
- ・下気道炎患者5名(咽頭ぬぐい液、鼻汁、5/30~6/7)・・・**ライノウイルス(HRV)**: 弘前(1)、**HRV及びボカウイルス**: 弘前(1)、**RSウイルス**: 弘前(1)、**RSウイルス及びPIV**: 八戸(1)、**RSウイルス及びヒトメタニューモウイルス**: 弘前(1)
- ・インフルエンザ患者1名(咽頭ぬぐい液、6/5)・・・**インフルエンザウイルスAH3亜型**: 八戸(1)
- ・感染性胃腸炎患者1名(直腸ぬぐい液、6/11)・・・**A群ロタウイルス**: むつ(1)

# 感染症の窓

## 手足口病

(五類定点把握疾患)

手足口病は、乳幼児を中心に、例年夏季に流行し、病原ウイルスは、コクサッキーウイルスA6、9、10、16、エンテロウイルス71などです。今年、現在のところコクサッキーウイルスA6が多く検出されています。

症状は、口腔粘膜、手の平、足に出現する2~3mm水疱性発しんと軽い発熱等です。通常は数日で回復し、予後良好ですが、まれに髄膜炎、脳炎等の合併症を起こすこともあります。

感染は、飛沫感染、接触感染、患者の便の汚染による糞口感染です。保育園や幼稚園等における予防対策は、手洗いの励行と排泄物の適正な処理が基本です。(参考: IDWR「注目すべき感染症」)

県内の発生状況は、2011年は9月にピークとなり、ピーク時の患者報告数は全国を上回りました。2012年は8月にピークとなり、患者報告数は2011年より少ないものの全国を大幅に上回りました(図)。2013年は、全国で第19週以降患者報告数の増加がみられ、県内でも第27週から増加しています。

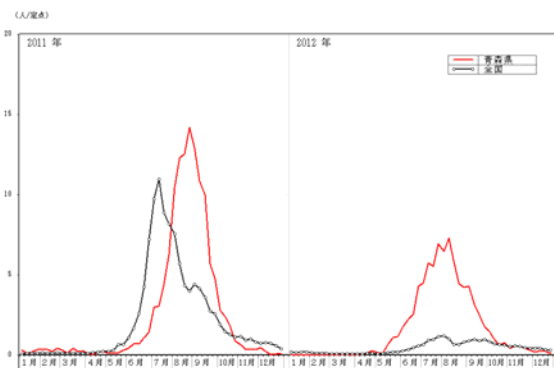


図 週別患者報告数の推移 (2011~2012)

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況

2013年第12週～第27週

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
12	H25.3.18 ~ H25.3.24		腸管出血性大腸菌感染症2人		腸管出血性大腸菌感染症1人		
13	H25.3.25 ~ H25.3.31		腸管出血性大腸菌感染症1人 急性脳炎1人	腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症2人	腸管出血性大腸菌感染症1人	
14	H25.4.1 ~ H25.4.7	腸管出血性大腸菌感染症1人				腸管出血性大腸菌感染症1人	風しん1人
15	H25.4.8 ~ H25.4.14		後天性免疫不全症候群1人			腸管出血性大腸菌感染症2人	
16	H25.4.15 ~ H25.4.21		クロイツフェルト・ヤコブ病1人				
17	H25.4.22 ~ H25.4.28	後天性免疫不全症候群1人	急性脳炎1人			風しん1人	
18	H25.4.29 ~ H25.5.5			劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人			
19	H25.5.6 ~ H25.5.12						
20	H25.5.13 ~ H25.5.19	梅毒1人	腸管出血性大腸菌感染症1人	E型肝炎1人			
21	H25.5.20 ~ H25.5.26	アメーバ赤痢1人		つつが虫病1人		つつが虫病2人 風しん1人	
22	H25.5.27 ~ H25.6.2	侵襲性肺炎球菌感染症1人	バンコマイン耐性腸球菌感染症1人	つつが虫病1人 アメーバ赤痢1人 風しん1人	つつが虫病1人 風しん1人		
23	H25.6.3 ~ H25.6.9		破傷風1人				
24	H25.6.10 ~ H25.6.16		つつが虫病1人	腸管出血性大腸菌感染症1人 つつが虫病1人	つつが虫病1人		
25	H25.6.17 ~ H25.6.23		つつが虫病1人	つつが虫病1人			
26	H25.6.24 ~ H25.6.30		つつが虫病2人				
27	H25.7.1 ~ H25.7.7	腸管出血性大腸菌感染症2人	腸管出血性大腸菌感染症2人	腸管出血性大腸菌感染症1人	つつが虫病1人	つつが虫病1人 風しん1人	腸管出血性大腸菌感染症1人

VI 結核(二類全数把握疾患)

2013年第12週～第27週

単位：人

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
12	H25.3.18 ~ H25.3.24	1	2		1		
13	H25.3.25 ~ H25.3.31	1	8	2			
14	H25.4.1 ~ H25.4.7	2	1			1	
15	H25.4.8 ~ H25.4.14		5	3	4	2	
16	H25.4.15 ~ H25.4.21	3	3	1	2	1	
17	H25.4.22 ~ H25.4.28	2	4	2			
18	H25.4.29 ~ H25.5.5	1	2	2	1		2
19	H25.5.6 ~ H25.5.12	2	2	2	1	1	
20	H25.5.13 ~ H25.5.19			3	1	1	1
21	H25.5.20 ~ H25.5.26			3			
22	H25.5.27 ~ H25.6.2	3	2	1		1	1
23	H25.6.3 ~ H25.6.9					1	
24	H25.6.10 ~ H25.6.16	3	2	2	2		1
25	H25.6.17 ~ H25.6.23	1				1	1
26	H25.6.24 ~ H25.6.30	2	2	2		2	
27	H25.7.1 ~ H25.7.7	3	1	2			

VII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

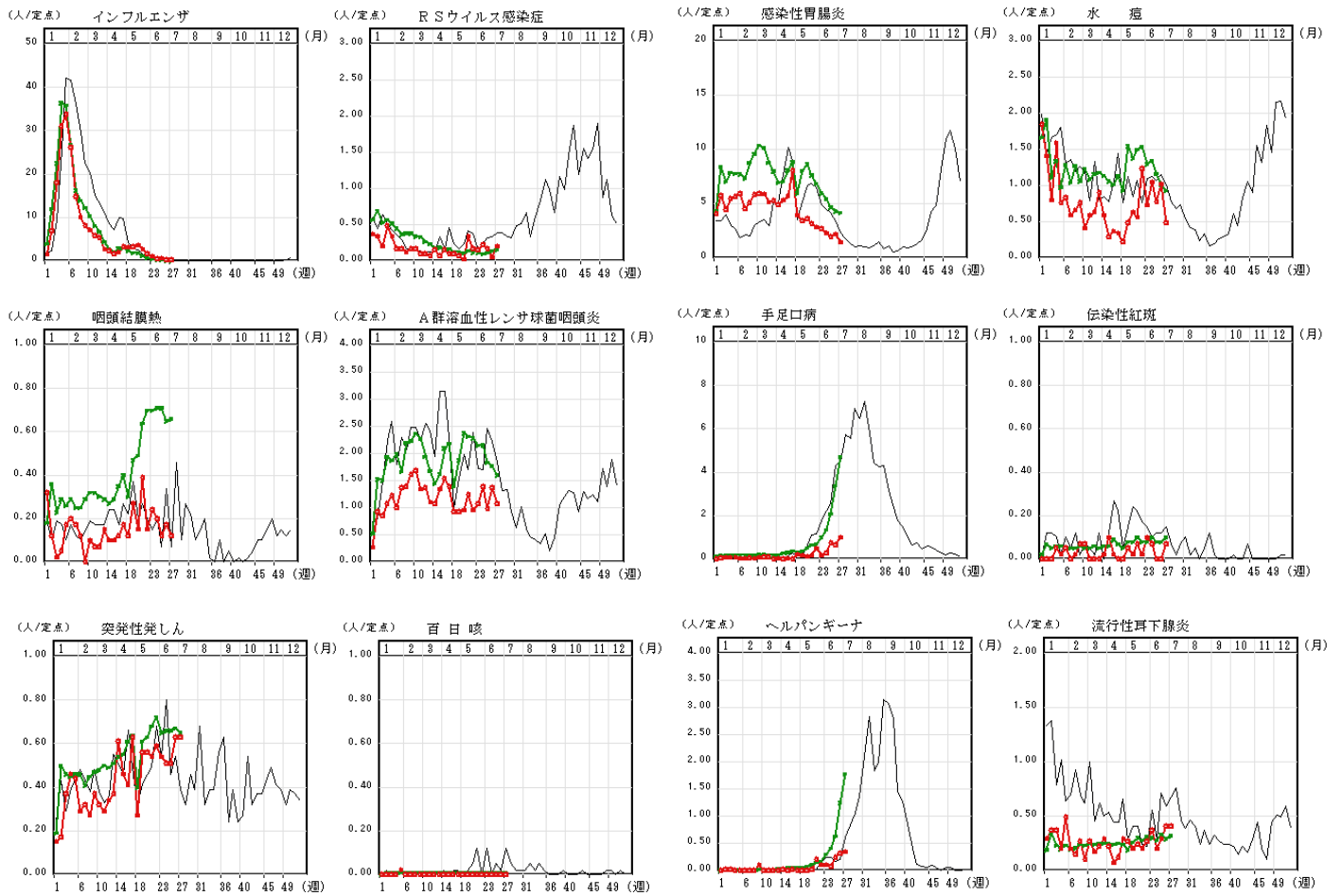
(2013年第1週～第26週累計)

	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	Q熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	マリア	ライム病	類鼻疽
全国	12552	1	69	728	30	32	66	83	9	6	3	3	22	6	119	87	35	1	21	3	2
青森県	162	0	0	17	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0
	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	バンコマイン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	髄膜炎菌性髄膜炎	
全国	361	4	500	128	201	2	93	110	757	35	44	11	418	7	545	61	31	11991	155	2	
青森県	1	0	2	0	2	0	1	1	2	0	0	0	1	0	1	1	1	7	0	0	

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移

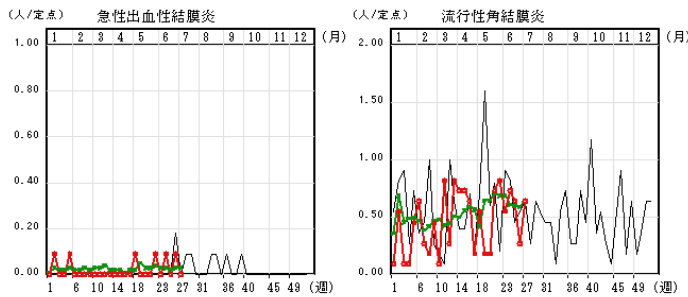
2013年第27週

グラフの説明 ○—○は2013年青森県、 —は2012年青森県、 ×—×は2013年全国



Ⅸ 眼科定点把握疾患週別推移

2013年第27週



Ⅹ 基幹定点把握疾患週別推移

2013年第27週

